

# ライブラリニュース みゆう

2026年3月 109号

千代田区  
男女共同参画センター

**MIW** (ミュウ)



3月8日は国際女性デーです

3月8日は国際女性デー(International Women's Day)です。1900年代初めにアメリカやヨーロッパで行われた、女性の参政権を求めるデモが制定の起源とされ、国際婦人年にあたる1975年に国連により定められました。歴史を振り返るものから、現代の課題を解き明かすものまで、気になった本があったら、ぜひ手に取ってみてください。



**リーダーシップはみんなのもの：フェミニズムから考える女性とリーダーシップ**

ジュリー・E.オーウェン 著  
和栗百恵、泉谷道子、河井亨 訳  
ナカニシヤ出版  
2024.10

NEW



**ニュージーランドアーダーン首相：世界を動かす共感力**

マデリン・チャップマン 著  
集英社インターナショナル  
2021.11

NEW

**OECD ジェンダー平等白書**

**：インターセクショナルな主流化アプローチによる格差解消をめざして**

経済協力開発機構 編著／明石書店／2025.6

NEW

**女性議員を増やしたい ZINE**

濱田真里 著／gasi editorial／2023.4

**世界を動かした素敵な女性トップリーダー23人  
：国際的に活躍できる日本の女性リーダーを創る**

山中燐子 著／リフレクト／2023.1

**国際女性デーは大河のように：増補版**

伊藤セツ 著／御茶の水書房／2019.2



## 女性史



### <図説>ポケットと人の文化史

ハンナ・カールソン 著  
岸川由美 訳  
原書房  
2024.9

#### 【MIWスタッフレコメンド】

衣服の飾りとして、あるいは実用的な収納空間として設えられたポケット。しかし、そんなポケットは、現代の女性服の多くにはついていないのに対して、男性服にはほぼ必ずついている。この違いは何か。本書が豊富な図とともに紐解いていくのは、性差や身分の違い、そして社会の変化によって、布の重なり生まれるこの小さな空間に、人々がいかなる意味を見出してきたかの歴史である。

### ふたり暮らしの「女性」史

伊藤春奈 著／講談社／2025.3

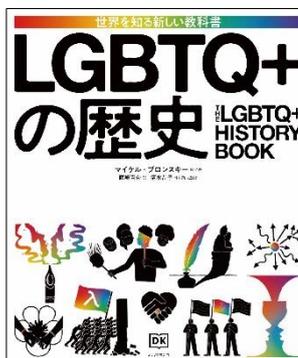
戦前にも「男性と結婚して、子を産み、家族を養う」といった社会から求められる「あるべき女性像」を拒み、女性同士の「ふたり暮らし」を選んだ人々がいた。世間から一方的に好奇のまなざしを向けられてきたこの「ふたり暮らし」という関係の歴史を辿り直すのが本書である。

### 加藤セチと女性科学者たち

加藤祐輔 著／玉川大学出版部／2025.2

日本女性科学者のパイオニアである加藤セチの伝記。彼女は、北海道帝国大学初の女子学生として入学し、理化学研究所でも女性初の主任研究員を務めた。しかしその功績は、彼女だけのものではなく、才能ある女性たちとともにいたからこそ成し遂げられたものでもあった。

## セクシュアリティ



### LGBTQ+の歴史

マイケル・ブロンスキー  
ほか 著  
藤崎百合 訳  
清水晶子 日本語版  
監修  
河出書房新社  
2025.11

#### 【MIWスタッフレコメンド】

古代ギリシャの詩や中世の事例、近代以降の差別・弾圧との闘い、サブカルチャーなど、LGBTQ+の歴史や文化に関わる重要なピックを豊富な図版やフローチャートとともに解説する。「LGBTQ+」という言葉は広く知られるようになったが、本書で、その背景を知り、歩んできた歴史や尊厳、社会の中での闘いに目を向け、さらに理解を深めたい。

### トランスジェンダー、クィア、アライ、仲間たちの声

小島あゆみ 著／かもがわ出版／2025.9

性的少数者の支援者「アライ」として長く活動する著者が、トランスジェンダーやクィア当事者を理解するための基礎知識を解説する。また、アライとしての活動や、その中で出会った当事者のそれぞれの声を丁寧に伝えることで、互いに尊重し合うためのヒントを届けてくれる。

### 「ふつう」に心がざわつく子どもたち :LGBTQ+の子どもも含めたみんなが安心のクラスづくり

林真末、鈴木茂義 著／明治図書出版／2024.7  
みんなが安心できるクラスづくりするにはどうすればいいのか。LGBTQ+の子どもを特別視するのではなく、多様な性のあり方の1つと捉え、どの子どもにとっても居場所になる教室にするため、「実際に使える」提案をしている。



## ジェンダー



### 「女子マネージャー」の社会学

関めぐみ 著  
左右社  
2025.2

#### 【MIWスタッフレコメンド】

女子マネージャーというと、選手を献身的に支える存在、気配りのできる裏方というイメージを持つのではないかと。本書は大学アメフト部の学生スタッフからの聞き取り調査から、その実態を可視化する。練習準備や記録、調整といった働きが無償労働として引き受けられてきた構造を明らかにし、なぜその役割が女子に割り当てられてきたのか、組織や社会のあり方を問う。

#### 名著でひらく男性学

##### ＜男＞のこれからを考える

杉田俊介、西井開、川口遼、天野諭 著／  
集英社／2025.10

研究者や元保育士、批評家など4人の男性が、それぞれの視点で男性学の「名著」を持ち寄り紹介。男らしさを当たり前とせず、男性であることの生きづらさや特権性、ジェンダー不平等の構造について語り合い、より対等な社会のあり方を探る、男性学の入門となる一冊。

#### 子どもの本でジェンダーレッスン

##### ：学びたいあなたのためのブックガイド

藤木直実 編著／かがわ出版／2025.10  
専門家が厳選した絵本や児童書をジェンダーやセクシュアリティの視点で読み解き、どのように子どもの本がジェンダーを描いているか具体的に示されたブックガイド。子どもと一緒にジェンダーを学ぶきっかけにもなる一冊。

## 文学・芸術・表現



### イラストで出会う 女性たちのいる美術史 ：隠されてきた「偉大な」 芸術家の物語

李君棠 著／垂垂 絵  
多田麻美 訳  
フィルムアート社  
2025.11

#### 【MIWスタッフレコメンド】

「偉大」な芸術家として知られる人物の多くは男性ばかり。本書冒頭のリー・クラスナーのエピソードのように、女性芸術家は傍流とされ、「○○の妻や母」と紹介されることも多かった。本書では、美術史上欠くことのできない功績を遺した女性芸術家に光を当て、それまでの男性中心的な美術史の刷新が目指されている。

#### をとめよ素晴らしき人生を得よ：女人短歌のレジスタンス

瀬戸夏子 著／柏書房／2025.8

男性中心的な歌壇でもやはり傍流とみなされてきた女性歌人たち。本書では、彼女たちの歴史を掘り起こすため、戦後に発足した「女人短歌会」が発行していた季刊歌誌「女人短歌」収録作品が論じられる。与謝野晶子や俵万智にとどまらない優れた歌人たちの歩みを知ることができる良書。

#### 多様で複雑な世界を、いまどう描くか

##### ：12人のマンガ家・イラストレーターの表現と思索の記録

BNN編集部 編、スケラッコ [ほか 述]／  
ビー・エヌ・エヌ／2025.9

多様な背景を持って生きる人々が暮らすこの複雑な世界で、より良い表現を模索するマンガ家・イラストレーターが心掛けていることは何かをインタビュー。関連するテーマの図書紹介も充実。

## ジェンダーの視点で「ことば」について考える本

ふだん何気なく使っている「ことば」には、知らず知らずのうちに「女性らしさ」「男性らしさ」といった性別によるイメージが反映されていることがあります。どうしてそのような表現をされるようになったのか、社会的な背景や、言葉の裏側にあるジェンダーバイアスについて考えてみませんか。自分自身の言葉をアップデートするヒントになるかもしれません。

NEW



### ことばに潜むジェンダー：学校・本・テレビ・日常のなかのもやもや

遠藤織枝 編著／明石書店／2025.9

絵本に登場する女の子・男の子はずいぶん違う言葉づかいをいませんか？テレビなどで見るお笑いネタの性表現にモヤモヤすることはありますか？教科書やマンガ、歌詞…テレビや学校などで、身近で日常的に使う言葉の中にある、ジェンダーの偏りを明らかにします。

NEW

### 「女ことば」「男ことば」を越えて：日本語のジェンダー研究の新たな地平

森山由紀子、加藤大鶴 編／ひつじ書房／2025.10

### 女ことばってなんなのかしら？：「性別の美学」の日本語

平野卿子 著／河出書房新社／2023.5

### 翻訳をジェンダーする

古川弘子 著／筑摩書房／2024.9



## MIWビデオサロン上映予定

MIWでは所蔵する映像作品を上映するビデオサロンを開催します。



4月17日(金)

### 「リトル・エッラ」

監督 クリスティアン・ロー

2022年／81分／スウェーデン・ノルウェー

人と仲良くするのが苦手なエッラにとって、唯一仲良くできるのは、おじさんで“永遠の親友”であるトミーだけ。ところがオランダからトミーの恋人スティーブがやってきて、トミーを取られるのではないかと気が気でなくなり…。北欧児童文学の映画化。

© 2022 Snowcloud Films AB & Filmbin AS

事前申込不要

第1回 14:30～、第2回 18:30～に上映を開始いたします。上映後には、感想を語りあう交流会を開きます。事前申込みは不要です。直接MIWにお越しください。ご参加お待ちしております。

## 千代田区男女共同参画センター **MIW** (ミュウ)

〒102-8688 千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 10 階

電話:03-5211-8845 FAX:03-5211-8846

Eメール:miw@city.chiyoda.tokyo.jp <https://miw.city.chiyoda.lg.jp/>

Instagram:chiyoda.miw Facebook:@chiyoda.miw

開館時間／月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00 日曜・祝日休館

※令和8年4月1日から平日の開館時間が9:00～20:00に変更となります。

ホームページ

メルマガ登録

